



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第 822 号 (一部抜粋)



令和 2 年 3 月 25 日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ JAS 国際化に向けた取組み ◆



最近、事業者の海外展開へのサポートに規格・基準を活用することの重要性が認識されてきました。実際に海外の商談において、JAS に定めた品質の基準や取扱いの基準が商品の説明に活用されている事例が認められています。このことから、日本産品の特徴を海外でより説明しやすくするため、FAMIC では JAS の国際化に向けた課題に取り組んでいます。今回は、このうち、これまで紹介してきた試験方法 JAS (メールマガジン第 724 号、773 号) についての国際化の取組みをご紹介します。

国内では、健康志向の高まりを背景に機能性表示食品制度が運用されており、JAS では「ウンシュウミカン中のβ-クリプトキサンチン (JAS 0003)」、「ほうれんそう中のルテイン (JAS 0008)」等の定量方法が制定されています。海外においても、健康維持、増進に関与する成分への関心が高まっています。加えて、世界的に一定量の野菜、果実の摂取が推奨されており、それら機能性関与成分を含んだ農産物の取引が、今後活発になることが予想されています。このため、JAS の国際化を目指し、まずはこれら成分の定量方法についての一般的なルールを ISO で定め、特徴ある農産物の公正な評価ができる環境を整えることを進めています。現在、FAMIC では、ISO へのルールの提案に向け、国内外の関係者と意見交換を重ね、ルールの作成に積極的に対応しています。

他方、国際的なルール作りには、ルールの必要性に加え、定量方法そのものが認知される必要があり、国外の理解者を増やすことも重要です。このため、英語版 JAS の作成・HP 掲載をはじめ、JAS 検討過程の調査内容の学術誌への投稿、農林水産省の依頼に応じて海外の大学における試験方法 JAS の講義、実習も行っています。

英語版 JAS 掲載サイト (Website : Japanese Agricultural Standards)

<http://www.famic.go.jp/english/jas.html>

